

女性 リレートーク

暮らしを支える土木の魅力

株木建設株式会社 茨城本店 土木部

● 宇野の
舞美



自己紹介

私は株木建設株式会社に入社して三年目を迎え、現場監督として働いています。

私が建設業界に飛び込んだきっかけは、祖父の存在です。小学校のころから機械やものづくりに興味があり、将来はロボットを作りたいと夢見ていました。高校生になると、体が不自由であった祖父が少しでも楽な生活を送れるよう介護用ロボットの開発を目指していました。しかし、高校三年生のときに祖父が亡くなり、多くの方から祖父の人柄や、長年携わってきた建設の仕事について話を聞く機会がありました。その中には、祖父が関わってきた現場が地域に根付き、人々の生活を支えていることへの感謝の言葉もありました。その話を聞くうちに、人の暮らしや街を形づくる建設の仕事はこんなにも多くの人の役に立ち、誇りを持てるものなのかと感じました。そして、自分も祖父のように技術を通して人や地域を支える存在になりたいと思い、この業界を志すことを決めました。

これまでの現場経験

入社後は樋管工事の現場に配属され、一年目は現場についていくことで精一杯でした。照りつける日差しの下でのコンクリート打設、真冬の寒さの中での丁張作業など、厳しい環境のなかでの作業を通して、先輩方の動きや段取りを見て学び、少しずつ現場での立ち回りを身につけていきました。二年目から

は橋台の下部工事に携わりました。その現場ではC-I-M活用の一環でジオラマ模型を作成し、完成形を立体的に確認しながら打合せを進めることができました。模型のおかげで、作業内容や段取りを全員が共有しやすく、現場の理解と連携がスムーズになりました。また、先輩もでき、教える立場としての指示や安全面への配慮も求められるようになり、自分だけでなく、全体の流れを見る視点が養われたと思います。

現場で一つの構造物が形になり、無事に完成したときの喜びは何事にも代えがたいものでした。自分が関わった仕事が地域の景色の一部となり、人々の生活を支えていくと考えるととても大きなやりがいを感じます。また、職人さんのやりとりも現場の魅力の一つだと考えています。こちらから質問すると忙しい中でも丁寧に答えてくださり、豊富な経験や現場ならではの知識も学ぶことが出来ます。

時には、ユーモアを交えた会話もあり、現場をより活気づけ、楽しい気持ちで仕事に取り組みることが出来ました。こうした人との関りや、一つのものを作り上げる楽しさや達成感は建設業ならではの魅力だと感じています。



レーザースキャナーによるICT出来形計測



「株木こまちの会」集合写真

女性技術者としての環境

ここ数年で、女性が働きやすい現場環境が少しずつ整えられてきていると感じています。

多くの現場で快適トイレが完備され、女性専用の休憩室やロッカールーム、仕事の合間にリフレッシュできる快適な空間が用意されていることも珍しくありません。私たちの会社でも、現場の設備や衛生面についてチェックリストを活用して環境整備を行い、定期的に女性技術者を集めた意見交換の場「株木こまちの会」を設けるなど、より良い職場づくりに取り組んでいます。「株木こまちの会」で活発に討議された意見は皆で統一した意見として会社へ上申し、認めてもらうことで、職場環境の改善につながっています。

また、設備面だけでなく、働き方や安全面にも配慮が進んでおり、育児や家庭の事情に対応しやすい時短勤務やフレックスタイム制度、産休・育休後の復帰支援など、柔軟な勤務体制が整えられているのも大きなポイントです。こうした取り組みは、女性だけでなく男女問わず誰もが安心して働ける環境づくりにつながっています。

一方で、現場ではまだ女性が少ないというのが正直なところですが。だからこそ、こうした取り組みをきっかけに、もっとたくさんの女性が土木の現場で活躍できるように努めていけたらいいなと思っています。

土木の魅力と今後の想い

土木の魅力は、自分が携わった仕事が形として長く残り、人々の暮らしや地域の発展に直接つながるところにあると感じています。完成した構造物は何十年、場合によっては何世代にもわたってその場所に立ち続け、地域の生活を支え続けます。その背後には、猛暑や厳寒、大雨などの厳しい自然条件だけでなく、設計や施工に関わるすべての人々が知恵や力を出し合って作り上げる過程があります。こうして完成した構造物を前にしたときの誇りや充実感は、他の仕事ではなかなか得られないもので、まさに「未来に残る仕事」であることが、土木の大きな魅力であると考えます。

今後は、これまでの現場経験で培った技術や対応力をさらに磨き、どのような条件下でも安全で確実な施工を実現できる技術者を目指します。そのため、日々の業務を積極的に取り組み、現場の効率化や品質の向上につなげていきたいと思っています。また、職人さんや先輩・後輩との信頼関係を大切にし、意見や知識を交換し合える現場づくりを心がけながら、自分自身も成長し続けていきたいと考えています。

宇野さんからのバトンをしっかりと受け取りました。次号では、日特建設に入社して私が見てきた特殊土木の世界とその魅力について少しでも伝えることができれば良いなと思います。

日特建設株式会社 名古屋支店
事業部 工事部 工事課

おおいし
大石かおり

